



Miura city council news

みaura市議会だより

2023.2.1 第152号



- 議会活動でのタブレット端末使用を開始
- 三浦市議会の個人情報の保護に関する条例を可決
- 議会報告会を開催
- 行政視察を実施



総務経済

◎三浦市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

本案は、選挙運動用自動車の使用やポスター作成等への公費負担の限度額を引き上げるものです。

(質疑の主な項目)
・一人当たりの上限の引き上げ額について

◎三浦市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

◎三浦市職員の懲戒の継続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例

◎三浦市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

◎三浦市水道事業及び公共下水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例

◎三浦市病院事業企業職員の給与の種類及び基準

に関する条例の一部を改正する条例

以上五件は、本市職員

の定年の延長、管理監督職勤務上限年齢制の導入等に関し、必要な規定の整備をするものであり、一括して審査を行いました。

【質問】定年年齢引上げ後に六十歳を超えて勤務する職員の待遇を伺う。

【答弁】手当の支給、六十五歳までの身分保障など、再任用職員としての勤務と比べ改善が見込まれる。

◎三浦市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

◎三浦市会計年度任用職員

の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◎三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例

◎三浦市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

以上四件は、人事院勧

告を勘案した給料等の額の見直しに関連するもので、一括して審査を行いました。

【質問】若年層の給料の引上額はどのくらいか。

【答弁】一人当たり、月に四千円程度の増額となる。

◎三浦市市税条例の一部を改正する条例

本案は、公共下水道における除害施設に係る課税標準の特例割合を見直すものです。

(質疑の主な項目)
・市内で課税標準の特例措置が適用される施設について

◎指定管理者の指定について(議案第六十七号、第七十一号、第七十五号、第七十六号。対象施設は左下の表を参照)

以上四件は、いずれも指定管理者を指定するもので、一括して審査を行いました。

【質問】二町谷にある各施設の管理期間を二十年とした根拠は。

【答弁】都市公園の整備な

どに用いられる、パークPFI(公募設置管理制)という手法を参照して期間を設定した。

◎令和四年度三浦市一般会計補正予算(第五号)

本案は、歳入歳出それぞれ七億二千八百四万三千円を追加するものです。

(質疑の主な項目)

・農業者支援として行う、肥料の購入費に対する補助の内容について

◎令和四年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第二号)

本案は、歳入歳出それぞれ千八百五十六万八千円を追加するものです。(質疑は特にありません)

請願

◎「核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書」採択についての請願書

(質疑の主な項目)
・県内の議会での採択状

況について

・条約に署名・批准することの意義について

【意見】暮らしと平和を守ることは大切であり、政府が条約に賛成して、署名・批准するよう求めたい。

【意見】本市は、非核三原則の順守を求め、あらゆる国の核兵器廃絶と軍縮を願う宣言をしており、意見書の提出は意義があると思う。

【意見】核兵器の所有国が本条約に参加していないこと、アメリカの核の傘下で日本の安全保障が保たれていることから、核軍縮の方向性を考えるべきであり、同意できない。

採決の結果、賛成少数により不採択とすべきものと決しました。

都市民生

◎三浦市個人情報の保護に関する法律施行条例

本案は、現在ある個人情報保護条例を廃止し、改正個人情報保護法の施行について必要な事項を定めるものです。

(質疑の主な項目)

・条例に基づき設置される審査会の構成や任期について

・現行の条例に基づく運用との変更点について

【意見】改正後の法律に基づく個人情報保護は、匿名加工情報を本人の確認・同意なく目的外利用することができ、個人の尊厳等の点から疑問・不安があるので賛成できない。

◎三浦市印鑑条例の一部を改正する条例

本案は、令和五年三月からコンビニエンスストア等で多機能端末機による印鑑登録証明書等の交付を開始することから、必要な規定を整備するも



のです。

(質疑の主な項目)

・コンビニ交付の対象となる証明書について

意見 マイナンバーカード普及の向上に寄与し、市民の利便性が向上することから賛成する。



◎三浦市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

例 本案は、人事院勧告を勘案し、病院事業管理者の期末手当の額を見直すものです。

(質疑の主な項目)

・今回の改正による影響額について

◎指定管理者の指定について(議案第六十六号、第六十八号、第七十号、第七十二号、第七十四号、対象施設は下の表を参照)

以上七件は、いずれも指定管理者を指定するもので、一括して審査を行いました。

(質疑の主な項目)

・各施設の指定管理者選定の際に評価した点について

質問 勤労市民センターの管理・運営に関し、提案された取組内容を伺う。

答弁 地元雇用の促進や地場産品を活用した調理実習の提案があった。

◎令和四年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第一号)

例 本案は、歳入歳出それぞれ四百六十二万円を減額するものです。

(質疑の主な項目)

・減額補正を行った理由について

◎令和四年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第一号)

例 本案は、歳入歳出それぞれ三千七百四十六万円を追加するものです。

(質疑の主な項目)

・償還金が増えている要

因について

◎令和四年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第一号)

例 本案は、歳入歳出それぞれ百四十九万二千円を減額するものです。

(質疑の主な項目)

◎令和四年度三浦市病院事業会計補正予算(第一号)

例 本案は、収益的収入に千九百二十四万円、収益的支出に五千八百二十九万五千円を追加するものです。

(質疑の主な項目)

◎令和四年度三浦市公共下水道事業会計補正予算(第二号)

例 本案は、収益的収入・支出それぞれ千七百二十万二千円を追加するものです。

(以上三件は、質疑は特

にありませんでした)

◎三浦市議会の個人情報保護に関する条例

例 本案は、出口眞琴議員、満川幸二議員、寺田一樹議員から提出されたものです。

・償還金が増えている要

条例の内容は、

議会の保有する個人情報

の取扱いに関し、議会の責務

や審査請求などについて定めるもの

です。

意見 本条例には匿名加工情報を第三者に提供してはならないという規定がないこと等から賛成できない。

指定管理者一覧

議案	施設名	指定管理者
第66号	三浦市勤労市民センター	(有)イブレック
第67号	新港海業センター	(株)三浦海業公社
第68号	三浦市三崎口駅第1・第2自転車等駐車場、三浦市三浦海岸駅第1自転車等駐車場	三浦市S&Cパーキング共同事業体
第69号	三浦市民ホール	(株)三浦海業公社
第70号	三浦市火葬場	(株)元創
第71号	三浦市油壺駐車場	(一社)三浦市観光協会
第72号	三浦市老人福祉保健センター	企業組合労協センター事業団
第73号	三浦市総合体育館、飯盛調整池公園、三浦スポーツ公園	スポーツプラザ報徳・KANKYUグループ
第74号	三浦市民交流センター	特定非営利活動法人YMCAコミュニティサポート
第75号	二町谷北公園・北護岸	エスパシオミサカマリンリゾート(株)
第76号	二町谷浮根橋第1号・第2号	エスパシオミサカマリンリゾート(株)

三浦市議会の個人情報の保護に関する条例を制定

条例の主な内容

議会における個人情報の取扱いについて定める「三浦市議会の個人情報の保護に関する条例」について、三人の議員から条例案が提出され、定例会最終日の本会議で賛成多数で可決しました。

これまでの、市の個人情報保護条例の規定を適用していましたが、同条例が廃止されるため新たに制定した議会独自の条例です。



個人情報

・総則…本条例の目的、定義、議会の責務

・個人情報の取扱い…個人情報の保有制限、利用目的の明示義務、利用及び提供の制限など

・個人情報ファイル…個人情報情報ファイル簿に記載する事項など

・開示、訂正及び利用停止…個人情報に関する各種請求手続きや請求に対する措置など

・雑則…条例の施行状況の公表など

・罰則…不正な手段で個人情報を提供、収集、開示を受けた者などに対する罰則

この条例は令和五年四月一日から施行されます。

新たに提出された請願・陳情

◎「核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書」採択についての請願書

趣旨 本請願は、核兵器禁止条約への署名・批准を行い、核なき世界の実現に向けて努力するよう、国に意見書を提出することを求めています。

◎「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

趣旨 本陳情は、最低賃金の抜本的な引き上げ、中小企業支援策の拡充を実現することについて、国に意見書を提出することを求めています。

◎陳情書（行政が第三者や有識者を選出する際の選考過程について）

趣旨 本陳情は、行政が意見を求めるために第三者や有識者を選出するに際しての、倫理規定の設定や選出過程の開示を求めています。

◎安全・安心の医療・介護実現のため、人員増と処遇改善を求める陳情

趣旨 本陳情は、医師、看護師、介護職員等の大幅な増員や、労働環境の改善等について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎介護保険制度の改善を求める陳情

趣旨 本陳情は、介護保険の利用に新たな困難をもたらす利用料の引き上げや給付の削減などの制度見直しを行わないこと等について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める陳情

趣旨 本陳情は、医療・介護・保育・福祉などの現場で働くすべての労働者を対象とした賃上げ補助を全額国庫負担で行うこと等について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

◎神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

趣旨 これらの陳情は、公立・私立学校の学費格差をさらに改善し、すべての子供たちに学ぶ権利を保障するため、私学助成をより一層充実するよう、国と県に意見書を提出することを求めています。



請願・陳情の審査結果

12月定例会で審査を終えた請願・陳情は、次のとおりです。

所管委員会	件名	結果
総務経済	「核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書」採択についての請願書	不採択
	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書（令和2年提出）	審議未了
都市民生	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための陳情	審議未了
	介護施設の人員配置基準等の引き上げのために、国に対し意見書の提出を求める陳情	
	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情（令和3年提出）	

全員協議会

新庁舎建設について

令和4年12月16日開催

や周知方法について、市の考えは。

答弁 パブリックコメントを行うほか、市のホームページで随時情報発信をしていく。

質問 事業者募集の結果、応募がなかったが、今後のスケジュールはどうなるのか。

答弁 今後精査して検討したい。

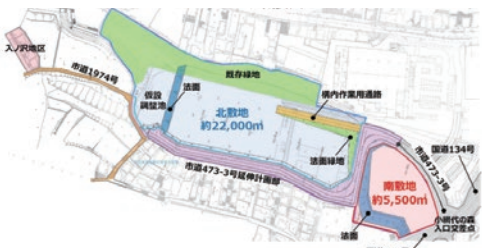
三浦市役所の新庁舎建設（令和八年四月開業予定）について、市の担当者から説明を受け、質疑を行いました。

質疑終了後には、今後も報告を受けるべき事項が生じた場合は全員協議会を開催することが確認されました。

質問 新庁舎には、現在、本庁以外に分散している部署も集約されるのか。

答弁 本庁及び神奈川県三浦合同庁舎に入っている部署と、市場管理事務所以外の経済部は新庁舎に移転する。

質問 この事業に関する市民からの意見聴取る



整備範囲の概要図

本会議における討論

請願第1号 「核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書」採択についての請願書

反対討論

無所属 蓮本 一朗

日本は、核兵器不拡散条約に批准し、この条約による体制を前提に「核兵器のない世界」の実現を目指して、活発に活動してきた。

我が国への領海侵入、領空侵犯はほぼ毎日起こり、安全保障環境は厳しさを増している。今、我が国の安全が保たれているのは日米安全保障条約

を基軸とした日米同盟によるものであり、国民保護事態にこの同盟が機能するよう信頼性を高めておかなければならない。

我が国の核兵器縮小の取組は、従来の方針の下で行われるべきであり、日米同盟の信頼性が低下しかねないことは行うべきではない。

このようなかえから、本請願には賛成できない。



新型コロナウイルス感染症に対する議会の対応

十一月二十二日

市への対応について報告を受けた。

新型コロナウイルスワクチンの年代別接種件数及び予約者数について

十二月定例会の運営方法等について協議した。

十二月十六日

次回定例会の対応について、災害等対策本部で三月定例会前に協議することを決定した。

請願書・陳情書の提出について

☆市政についての要望などを、請願や陳情として議会に提出することができます。

☆請願は、紹介議員が必要です。

☆書式等は、次の例にならってください。

・用紙はA4判を使用し、文字は横書きとしてください。

・趣旨は簡潔明瞭に書いてください。

・内容がいくつかにわたる場合（道路問題と学校問題など）は、別の請願（陳情）としてください。

・請願（陳情）者が複数の場合は、代表者を決めてください。

☆請願（陳情）者は、付託された委員会に出席して趣旨説明ができます。（前日までの申し出が必要ですが）

(請願書の表紙)

〇〇〇についての請願書

紹介議員 ○○○○ 印
○○○○ 印
(署名または記名押印)

(請願書・陳情書の本文)

〇〇についての請願(陳情)書

請願(陳情)の趣旨

請願(陳情)の理由

令和 年 月 日
三浦市議会議長 様

住所 ○○○○

氏名 ○○○○ 印

(法人の場合は名称、代表者名)
(署名または記名押印)

☆詳しくは、三浦市議会ウェブサイトをご覧いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

本会議での議案等の審議結果

《全員賛成で議決した議案》

【議案】	
第53号	三浦市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
第54号	三浦市印鑑条例の一部を改正する条例
第55号	三浦市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例
第56号	三浦市職員の懲戒の方法及び効果に関する条例等の一部を改正する条例
第57号	三浦市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
第58号	三浦市水道事業及び公共下水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
第59号	三浦市病院事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
第60号	三浦市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
第61号	三浦市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
第62号	三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
第63号	三浦市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
第64号	三浦市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
第65号	三浦市市税条例の一部を改正する条例
第66号	指定管理者の指定について（三浦市勤労市民センター）
第67号	指定管理者の指定について（新港海業センター）
第68号	指定管理者の指定について（三浦市三崎口駅第1自転車等駐車場ほか）
第69号	指定管理者の指定について（三浦市民ホール）
第70号	指定管理者の指定について（三浦市火葬場）
第71号	指定管理者の指定について（三浦市油壺駐車場）
第72号	指定管理者の指定について（三浦市老人福祉保健センター）
第73号	指定管理者の指定について（三浦市総合体育館ほか）
第74号	指定管理者の指定について（三浦市民交流センター）
第75号	指定管理者の指定について（二町谷北公園、二町谷北護岸）
第76号	指定管理者の指定について（二町谷浮棧橋第1号、二町谷浮棧橋第2号）
第77号	令和4年度三浦市一般会計補正予算（第5号）
第78号	令和4年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
第79号	令和4年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
第80号	令和4年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
第81号	令和4年度三浦市市場事業特別会計補正予算（第2号）
第82号	令和4年度三浦市病院事業会計補正予算（第1号）
第83号	令和4年度三浦市公共下水道事業会計補正予算（第2号）
第84号	令和4年度三浦市一般会計補正予算（第6号）

《賛否が分かれた議案等》 ○賛成 ●反対

※議長は表決に加わらない

番 号	件 名	審議結果	自由民主党				公明・みうらクラブ			日本共産党		無所属		
			草間道治	長島満理子	出口正雄	神田真弓	出口真琴	溝川幸二	鈴木敏史	藤田昇	石橋むつみ	小林直樹	蓮本一朗	寺田一樹
【議案】 第52号	三浦市個人情報の保護に関する法律施行条例	可決		○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
【議員提出議案】 第1号	三浦市議会の個人情報の保護に関する条例	可決	※	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
【請願】 第1号	「核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書」採択についての請願書	不採択		●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○

一般質問 質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずくことをいいます。第4回定例会では、12人の議員が市政運営について市側の考えをたずきました。



市民サービス向上

マイナンバーカード交付と申請
公明みうらクラブ 鈴木 敏史

質問 マイナンバーカードの交付率について、三浦市の交付率と近隣市等と、神奈川県平均等を併せて聞く。

市民部長 マイナンバーカードの令和四年十月三十一日現在の市内交付率は四三・二%である。横須賀市五二・八%、逗子市五三・八%、葉山町五一・七%となっている。神奈川県内の市で最も交付率が高いのは横浜市の五五・一%であり、本市は県下三十三市町村中では最も低い交付率である。また、神奈川県平均は五四・〇%、全国平均は五一・一%である。

市民部長 市ではリアルタイムの把握ができないため、令和四年十月三十一日時点の申請率は五〇・六五%で、対象人口の二分の一を超える市民が申請を済ませた。

質問 マイナンバーカードの申請はスマートフォンの簡単にできるとPRされているが、高齢者の方にとっては必ずしもそうではないと思う。多くの高齢者の方は家の近くの施設で申請を済ませることができればよいと思っているのではないか。これまで休日交付は南下浦出張所と市役所本館で行っている。市内の三地区で均等に実施することは難しいと思うが、初声地区での申請サポート、休日交付の実施について

聞く。

市民部長 高齢者の方々はスマートフォンを使った申請を難しく感じたり、ご自分の顔写真の撮影に苦勞したりと、対面でのサポートを受けながら申請を希望される方が多くいる。自宅近くの施設での申請手続きを希望される方も多く、臨時的ではあるが、初声地区での申請受付や交付手続きができるよう進めていく考えである。

要望 市民がスムーズに利用し、平日も三地区での申請や交付ができるよう、オール市役所対応していくことを要望する。

質問 十一月二十七日時点で、総務省によると、全国でのマイナンバーカードの申請率が六〇・一%に達したとあった。市内の申請率を聞く。



市役所本館 1階交付窓口



三浦市図書館

平和・市民の取組・ピースデー
日本共産党 石橋 むつみ

質問 市の図書館の現状等を問う。

市民部長 コロナ禍前と比べ利用者は五割程度に。蔵書点検や南分館の閉館による図書館資料・書架の移設、図書館システム更新に伴うデータ抽出・新システム構築・研修等のための休館期間があったが、通常通り開館している。十二月一日から新システムに更新、図書館ホームページも見やすく使いやすくした。

質問 第三次三浦市子ども読書活動推進計画にある学校図書館ボランティアの状況を問う。

教育部長 市内五つの小学校で四十五名の図書ボランティアの登録がある。以前は全小学校で計百名以上の登録があった。コロナ感染防止対策での活動中止もあり、減少して

いる。

質問 引橋の市民交流拠点整備の事業者募集の要求水準書に公共施設として市役所と並び図書館がある。図書館構想の形になっていないが、担当の意見などは聞いたのか。

市長室長 図書館部分は担当部署の意見を聞きながら作成。より詳細なつらえ等は今後も協議していく。この事業は公共施設と民間施設を一体的に整備し全体で市民交流拠点を形成する。条例上の市の図書館である。

要望 葉山町立図書館あり方検討委員会の例もある。市民も声をだしていかなければと考えるが、各担当も、市民にとって図書館とは何かを押さえ、知の拠点・交流の拠点として図書館本来の役割を果たしていくよう願う。

質問 市民の「今聞き、語り継いでいかねば」との思いで、市内では被爆者の証言を聞き取りながら広島の高校生が描いた絵の複製ほかの写真展や

平和の語り部高徳えりこさんの話を聞く集いなどが連綿と続いている。市長の考えを問う。今年度の市民参加型の非核平和のイベント、みうらピースデーは？



太平洋戦争中、17歳で特攻戦死した私の父さん（語り部高徳えりこ氏画）

市長 三浦市核兵器廃絶平和都市宣言で『日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を日常の市民生活の中に生かし、子々孫々に継承する』として

いる。市民の取組が多く行われている事を市長として誇りに思う。
政策部長 オンライン配信が続いたが、今年度は対面形式で三月開催を目指している。



海業・水産業振興

防災核シェルター整備要望
無所属 蓮本 一朗

質問 海業の推進に向けた、漁港の利活用に関する市の取組をうかがう。

市長 昭和六十年に久野隆作市長が「海業」を提唱して以降、三崎フィッシュアリーナ・ウオーフ「つらり」を整備するなど「海業」の取組を進めてきた。現在の代表的取組として、ホテルや商業施設等を建設する「三浦市二町谷地区海業振興プロジェクト」が進行中だ。

質問 水産業振興のための市の取組をうかがう。

海業水産担当部長 漁業者の漁業共済掛金の補助や水産物輸出促進のための事業、市営漁港の整備や維持管理など、漁業者の生活や漁業活動、水産関連事業者の取組を下支

える施策を行っている。加えて、新たに漁船の建造や取得をして漁業に取り組もうとする漁業者を支援するため、漁船建造や取得の際の借入利子の一部を助成する制度を創設する。水産流通施策として、低温卸売市場の建設や沿岸卸売市場の改修による施設の高度衛生管理化を終え、新たな超低温冷蔵庫の建設に取り組んでいる。

質問 三浦市の安全保障環境の認識をうかがう。

防災危機対策室長 中国による尖閣諸島問題、北朝鮮によるミサイル発射実験、ロシアによるウクライナ侵略など、日本をとりまく安全保障環境は、これまでになくスピードで厳しさを増している。


三浦市は、ミサイル攻撃の目標となり得る米軍基地や自衛隊基地が所在する横須賀市に隣接しており、また、テロ攻撃などの目標となり得るスーパーや観光施設などを有しており、南西諸島や政経中枢部などに比較して安全保障上の脅威は低いもの、決して油断はできないと認識している。

要望 今年八月に与那国島北方約八十キロメートル地点と他の地点を合わせて六発、中国が発射したミサイルが着弾した。政府は住民が避難するシェルターの設置に向けた調査を始め、空港や港湾施設の強化にも着手する。

これを機に、三浦市での防災核シェルター整備の検討を要望する。



防災核シェルター



安心でできるまち
 教育行政・食品ロスの削減
 自由民主党 千田 征志

質問 休日の部活動の地域移行について教育委員会の考えを伺う。

教育長 国は、令和五年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行と地域スポーツ・文化環境の一体的な整備に向け、スポーツ団体や文化芸術団体等の整備充実、又、指導者の確保、参加費用負担の支援等を総合的に推進する方針を打ち出している。しかし、現時点では県から、推進の方向性について地域の実情に応じた、具体的な方策はまだ示されていない状況である。

市教育委員会で共通理解を図りながら検討を進める必要があると考える。

質問 本年度十月に実施されたフードドライブの目的や取組内容について伺う。

都市環境部長 フードドライブは、食品ロス削減を目的に、家庭で余った食品を持ち寄り、それを必要としている福祉施設や団体等に寄附をする活動である。三浦市では令和三年度から、ごみダイエット大作戦のアクションプログラムに掲げ取り組んでいる。令和三年度は、初の試みであったが、職員を対象に試行したが、今年度は市民の皆様も参加する形で実施した。実施期間は十月三日から二十一日までとして、対象となる食品を市役所に持ち寄ってもらい、集め

た食品を必要としている団体へと寄附を行った。

質問 持ち寄る食品の対象はどのようなものか伺う。

都市環境部長 今回は、賞味期限が二ヶ月以上あり、常温で保存可能かつ未開封のものを対象とした。具体的には、缶詰、レトルト食品などがあつた。尚、アルコール類、生鮮食品、賞味期限の記載の無いものは対象外とした。

質問 市民への周知方法を伺う。

都市環境部長 広報紙「三浦市民」十月号と市のホームページにてフードドライブ実施の案内を掲載した。又、小学校の出前授業の中でフードドライブへの協力をお願いした。



環境センター事務所前
フードドライブのぼり旗



三浦市の農業
 三浦の農業のあり方について
 公明みうらクラブ 溝川 幸二

質問 神奈川県で取り組んでいるかながわブランドには、三浦の大根、三浦のキャベツをはじめ、野菜部門で十品目の登録がある。かながわブランドの農産物に占める三浦野菜の割合を増加させるなど、生産者の農業収入の増加につなげる取組が必要と考えるが、三浦野菜のブランド化について市の考えを伺う。

市長 三浦野菜は、かながわブランド野菜部門の半数近い品目が登録されている。今後さらに農協や県の農業技術センター三浦半島地区事務所などと連携を強めて、新たなブランド化に向けて、新品目、新加工品等の発掘を積極的に進めていきたいと考えている。

市長 大根を中心とし三浦市農業協同組合が共販出荷している地域は、北海道から大阪府までの広い範囲であり、各地の市場へのトップセールスをする長い間行っているところである。

質問 新たな販路開拓等の取組があれば伺う。

市長 国内にとどまらず、コールドチェーンの整備に関して、国の複数の省庁が連携して実証実験をしていると伺っている。三浦市も海外輸出を本格的に視野に入れながら、機会を逸することなく参画していけるよう情報収集を行っていきたい。

められてくる。行政と農協、生産者が一丸となつて取り組んでいくことはもちろんだが、農協、生産者を前面に押し上げ、自由度を上げた取組も重要であると考えている。農業を魅力あるものとして将来を担う世代に受け継ぐため、新しい取組と、継続する取組をしっかりと検討して実現を目指していきたいと思う。


意見 三浦の農業をより発展させていくためには「後継者不足」「新たな農産品の発掘」「基盤整備」等、今から取り組んでいかねばならない課題であると感じている。市として、農協、生産者の取組をバックアップし、よりよい三浦市の農業となるように期待している。



三浦の青首大根畑

質問 三浦野菜の販売地域について伺う。

市長 近い将来、後継者対策、農地の基盤整備、新たな取組の必要性が求



小学校の統廃合
給食費、役所移転、リフォーム
日本共産党 小林 直樹

小学校の統廃合計画

質問 教育委員会は、学校教育ビジョンを策定し

三崎地区の三つの小学校を一枚に、南下浦地区の四つの小学校を一枚にする計画を進めていた。

しかし、小学校の存続を求める意見が多くあり、学校教育ビジョンを見直すことになった。

見直しの柱として「段階的な統廃合」とあるが、どのような基準で行うのか？

教育部長 児童数などの一律の基準で統廃合を決定することは、難しいと考えている。

要望 様々な意見を聞いて、判断することが必要である。

見直しに当たっては、一度に五つの小学校を廃校にしてしまうことに固執すべきではない。



三浦市立三崎小学校

学校給食費の無料化

質問 小中学生の保護者の負担軽減のために給食

費が三月まで無料である。四月以降も継続して無料にできないか？


教育部長 直接的な支援は大変意義がある。しかし、四月以降は保護者負担を想定している。

要望 四月以降も継続することを求める。

市役所の移転について

質問 市役所移転について市民の意見を聞く「パブリックコメント」は、いつ実施するのか？

市役所移転について、市民の意見を聞く「パブリックコメント」は、いつ実施するのか？



市長室長 事業者からの提案提出時期に実施する。
要望 提出される前に実施し、市民の意見を聞き、その意見を反映させた事業計画にしていくことが必要である。

事業者からの提案提出時期に実施する。



三浦市役所 本館


住宅リフォーム助成

質問 住宅リフォーム助成制度は、市内の施工業者が行う住宅やマンションのリフォーム工事に対して助成する制度である。

「建設業の振興」と「住環境の向上」を図ることを目的としている。

今年度も募集件数より応募の方が多かった。来年度も継続して実施すべきだが、いかがか？

市長 来年も、もちろん制度の継続をしていく考えである。



公共交通について
鉄道・バス・タクシー
無所属 寺田 一樹

公共交通について

質問 近年多くの地域で、公共交通の維持・確保が難しくなってきたと言われている。しかし、公共交通は住民の暮らしを支える重要なツールである。できる限りサービスが維持されるよう努めることが大事である。

先般、鉄道のダイヤ改正に伴い土曜・休日の十九時以降の減便が行われた。市民にとって鉄道の利便性が低下したことは否めない。ダイヤ改正に当たって事業者と市の間で協議はあったのか。

政策部長 公表前にダイヤ改正を行う理由や内容の説明を受けている。その際、利用状況を勘案したとの説明があり一定程度理解した。なお、市民等から意見や声が寄せられた際には事業者に知らせることを伝えている。

近年多くの地域で、公共交通の維持・確保が難しくなってきたと言われている。しかし、公共交通は住民の暮らしを支える重要なツールである。できる限りサービスが維持されるよう努めることが大事である。

政策部長 事業の実施に当たっては、車両や運転手を確保できる事業者がいることが必要であると考えている。タクシー事業者等の意見を伺うとともに、他の自治体の事例を調査することから始めていきたい。

市内において、公共交通サービスの縮小が現実のものとなってきた。将来的に人口減少が想定される中、今後ますます公共交通サービスの縮小が懸念される。市民の移動手段の確保を図る必要があると思うが、どう考えているのか。

政策部長 市民の要望や交通事業者の意見を聞いて、移動手段の確保について、他の自治体の事例等の研究をしていきたい。

質問 バスにおいても路線や便数が減少しているが、この現状をどう捉えているのか。

政策部長 市民生活に影響があると考えている。鉄道同様、必要なことは事業者に伝えていきたい。

質問 夜間にタクシーが捕まらないことを一因として、地域経済の衰退が肌で感じられるようになってきている。また、深夜に救急車で病院に行っても、帰宅できない状況にあり、市民の安心な暮らしも揺らいできている。

政策部長 地域における輸送手段の確保が必要な場合に、必要な安全上の措置を講じた上で市町村等が自家用車を用いて提供するサービス、家用有償旅客運送の制度があるが、この制度を利用することについてどう考えるか。

市内において、公共交通サービスの縮小が現実のものとなってきた。将来的に人口減少が想定される中、今後ますます公共交通サービスの縮小が懸念される。市民の移動手段の確保を図る必要があると思うが、どう考えているのか。



乗降中のバス



小松ヶ池公園付近の桜

三浦海岸利活用
 観光情報発信・移住定住の促進
 自由民主党 長島 満理子

質問 多くの観光客が来るような情報発信や観光PRはどのように行っているのか。観光スポットを効果的にPRすることにより、回遊性の向上につながるかと考えるが、情報発信はどのように行っているのか伺う。

経済部長 観光に関する情報のPRは、本市の観光協会のホームページにおいて、目的に応じたPRに努めている。主要な観光スポットには観光案内板などを設置している。回遊性向上につながる

情報発信については、スマートフォン等の普及により、フェイスブックやLINE、インスタグラム、ツイッターといったSNSによる情報発信を活用している。

質問 海岸利用について伺う。神奈川県と三浦海岸の通年利用施設整備に関して意見交換が行われ、県よりビーチスポーツの拠点として利用可能な説明を受けた。北下浦漁港の活用も必要であるが、今後どのように進めているのか、市長の考えを聞く。

市長 県は三浦海岸の利活用のため、現地を視察し、市の担当と意見交換を行っている。また、三浦海岸の活用の検討に向けて情報共有が必要であると認識している。今後、県市双方で北下

浦漁港（上宮田地区）にぎわいの創出と三浦海岸の活用を一体的に検討していく必要があると考えている。海業の具現化に向けた次のステップとして非常に重要な施策であると考えている。

質問 地域奉仕団体が地域の交流の場づくりとして「みんなの食堂」を開催した。子育てに関する情報発信のほかに地域コミュニティが形成できる場所を作ることが子育てしやすい環境づくり、移住定住の促進につながると思うが、意見を聞く。

市長 みんなの食堂は、食をきっかけに人と人とのつながりや地域住民の居場所ということ等重要な視点であり、子育てしやすい環境につながるものである。市としても、整備が行われている南下浦コミュニティセンターにおいて、市民が交流しやすい場を提供し、移住定住の促進につなげていきたいと考える。

市長 三浦市においても、子育て支援の充実が重要である。全国的にも少子化が加速している。二〇二一年、日本で生まれた子供の数は過去最少の八十一万一千六百二十二人で、想定よりも七年程度早く少子化が進んでいる危機的状況に直面する中で、本市においても子育て施策の拡充は喫緊の課題であると考える。今後の子育て支援策に対する市長の考えを伺う。

子育て支援の充実
 小児科医療体制について
 公明みうらクラブ 藤田 昇

質問 このたび厚生労働省の第二次補正予算において、新たに出産・子育て応援交付金が創設された。全ての妊婦、子育ての家庭が地域で安心して出産・子育てができるよう、国を挙げて取り組むことが目的。妊娠期から出産・子育てまで一貫して地域で相談ができるような伴走型相談支援の仕組みを構築した上で、さらに妊娠期に五万円、出産後に五万円の計十万円相当の経済的支援を一体化して実施する事業を支援するものである。現状において、市として妊娠期及び、ゼロ歳から二歳の子育て期までの支援について、どのような取組を行っているのか伺う。

質問 全国的にも少子化が加速している。二〇二一年、日本で生まれた子供の数は過去最少の八十一万一千六百二十二人で、想定よりも七年程度早く少子化が進んでいる危機的状況に直面する中で、本市においても子育て施策の拡充は喫緊の課題であると考える。今後の子育て支援策に対する市長の考えを伺う。

保健福祉部長 妊娠届出時に、助産師の資格を持つ母子保健コーディネーターや保健師が直接面談を行っている。

市長 三浦市においても、子供の数は年々減少している。子育て支援策の拡充というものは、市全体の人口減少の歯止めにもつながる市の重要な施策であると認識している。今後、市民の声に耳を傾けながら、未来を担う子供たちとその家族に対する支援を継続していく。

市長 三浦市においても、子供の数は年々減少している。子育て支援策の拡充というものは、市全体の人口減少の歯止めにもつながる市の重要な施策であると認識している。今後、市民の声に耳を傾けながら、未来を担う子供たちとその家族に対する支援を継続していく。

質問 小児科の医療体制について。令和五年三月で、市内唯一の小児科専門のクリニックである、にしやま小児科が閉院すると聞いた。そこで、市立病院には、横浜市大の小児科教室への働きかけ、三浦の小児科医療の充実を訴えて頂き、小児科の医療体制の充実を図っていただくことをお願いするがいかがか考えを伺う。

病院事務局長 横浜市大小児科教室には小澤総病院長が直接交渉を行い、空白が生じないようにこれまで働きかけている。その結果、先日、小児科教室の教授より連絡があり、来年度より一名の常勤医師を派遣していただけることになった。



【三浦市立病院小児科受付】



高齢者支援対策

防災対策

自由民主党 出口 正雄

高齢者支援対策について

質問 総務省が発表した

十月の生鮮食品を除く全国消費者物価指数が上昇したため、政府は第二次補正予算案を計上するなどの景気対策を行っているが、庶民にとって物価対策や賃金の上昇など喫緊の課題への対策の成立を願っている。

三浦市は、子育て支援として医療費の無償化の拡大や給食費補助などの事業を行っている。

子育て支援は充実してきたが、後期高齢者医療制度改革案では高所得者の年間保険料の上限額の引上げが検討されている。団塊の世代が後期高齢者になることで、保険料を担保する必要性があると言われるが、高度成長期に社会に貢献した高齢者への支援が出来ない

市総合防災訓練が行われ、その冒頭で大津波警報が発表された想定で、高台への避難訓練が行われた。

訓練後の結果に対する

検証が必要と思うが、訓練の状況は職員が確認したのか。避難路の環境の問題など訓練結果はどの

場面を活かすのか聞く。

防災危機対策室長 今回の津波避難訓練は、防災行政無線や防災情報メールなどを用いて、自発的に各地区による避難訓練

になることを目的に実施した。訓練実施状況は直接確認は出来ていない。参加された区や市民からは指摘や意見は寄せられていないが、訓練で得られた経験は実際の災害発生時に十分活かせるもの

と考える。



過去の津波避難訓練の様子



あったかいまち

子供を産み育てたいまち

自由民主党 神田 眞弓

質問 農業行政

農業経営基盤強化促進法が一部改正されたが、

今回の法改正が三浦市に及ぼす影響について伺う。

農業委員会事務局長 乱雑な農地等の権利の取得を抑えるのに大きな役割を

果たしていた下限面積要件が廃止された。これにより農業未経験の一般企業、非農業者等による農地等の権利取得が促進され、将来的に企業としての撤退判断、個人農業者の廃業等による荒廃農地の増加といった懸念材料がある

と認識している。

要望 三浦市の優れた宮

農環境を守るという取組を国や県に積極的に働きかけ、三浦の農業を発展させることを求める。私たちも三浦ならではの宮農環境、農業環境を、全国に先駆け、農家の主体

的な取組のモデルケースとして発信したい。



三浦のすばらしい田園風景

質問 教育と福祉

学校教育ビジョン

大切な成長過程にある小中学校で、年齢ごとの学年区分になっていることは大きな意味を持つている。急速な成長過程において、年齢に合った教育を提供されることは、

その後の人生にとって重要だと考える。

要望 複式学級は取るべき形

態ではないと考えるが、教育委員会の考えを伺う。**教育長** 三浦市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針では、複式学級の設置が想定さ

れる状況になった時には検討を行うとしており、一人の学級担任が一つの教室で同時に複数の学年を指導する状況は望ましくない

と示している。この考えは今も変わらない。

質問 療育について

市内の十八歳未満で障害者手帳を持っている方、手帳は持っていないが療育が必要な方、小中学校で特別支援学級に在籍している方の人数を伺う。

保健福祉部長 身体障害者手帳は十五名、療育手帳は八十五名が取得して

いる。手帳の取得はないが療育を必要とする子供は五十三名である。

教育部長 小学校では二十三学級に六十八名、中学校では十一学級に四十三名が在籍している。

要望 現在、すすくく教室が三浦の療育を担っているが決して十分な環境とはいえない。療育は親支援が大切であり、様々な取組の周知方法の見直しをお願いする。

防災対策について

質問 十一月五日に三浦

か。これまでの社会貢献のお返しが必要だと思いが、市長の考えを聞く。

市長 日本の高度成長期を支えたのは高齢者の皆さんであることは十分認識している。今後も高齢化率が進展する中で、今以上に財源が必要になることも考えられる。高齢者全体への直接的な経済支援の検討は、時代の流れに合った政策を考えていくことになる。県内の市で一番高い高齢化率であることは、逆に住みやすいく元気でいられる町であると思いい、そのような町を目指す考えは議員と同じであると思う。議会とも協議しながら、しっかりとした対策、施策を作っていくと考える。

三浦市の海業

三浦市の海業の取組

自由民主党 出口 眞琴



質問 新たな水産基本計画と漁港漁場整備長期計画に海業が位置づけられたことについて、市長に伺う。

市長 新しい水産基本計画及び漁港漁場整備長期計画に海業が位置づけられたことを最良の契機と捉えて、海業の振興による地域活性化にますます注力して取り組む。

質問 海業の取組で代表的なものは三崎フィッシャリーナ・ウオーフであるが、その整備の経過について伺う。

市長 海業を推進するための実施主体として、行政と民間の出資により株式会社三浦海業公社が設立され、海業の拠点施設である三崎フィッシャリーナ・ウオーフ（うらり）の整備に向け、取組が進められた。

質問 「うらり」が海業の拠点施設として地域活性化のために果たしている役割について伺う。

市長 陸、海、どちらからでもアプローチできるマリンレジャー拠点である国土交通省の海の駅として認定され、三崎地区の観光の拠点として地域活性化のために大きな役割を果たしているものという認識である。

質問 二町谷地区海業振興プロジェクトは、これまでの海業の取組と比較してどのような違いがあるのか伺う。

市長 二町谷地区海業振興プロジェクトの最大の違いは、PPP（公民連携）という手法を選択したことである。

てどのような効果を期待しているのか伺う。

市長 施設利用者による水産物の消費や観光消費の拡大、スーパーヨット誘致などによる新たな観光コンテンツと観光消費の創出、ホテル建設などにより創出される新たな雇用などを期待している。

質問 今後、三浦市が海業による地域振興を進めるに当たっての市長の考えを伺う。

市長 海業発祥の地として、海業をPPPにより推進し、三浦市に憧れを創出する考えであり、海業日本一のまちづくりを目指し、取組を進めていく。



みうら・みさき海の駅「うらり」

タブレット端末の使用開始について

議会内のICT（情報通信技術）の活用を進めるための、タブレット端末の導入が令和四年十月から始まり、同月中に全議員にタブレット端末を配布（貸与）しました。配布時には事務局から注意事項や基本的な操作及び設定済みのアプリの説明がありました。

十一月七日には、サイドボックス（※）の利用者講習会を開催しました。十二月定例会では、試行期間と位置付けていますが、可能なものは紙ではなくデータ配信を行いました。

委員以外の議員も出席のもとで、実際に使用した感想や課題の抽出、意見交換を行いました。出された課題等に対して引き続き検討を行ってまいります。

※電子化した文書をクラウド上の電子本棚で共有するシステムです。



表紙写真の紹介

議長の草間です。今回の写真は、十二月十六日の第四回定例会本会議終了後に議長席から撮影した写真です。私は、議長として議会の改革の推進を目指し取組んで来ましたが、その一つが議会だよりの一冊と編集方法であります。議会だより編集委員会では検討を重ね、令和

二年五月号からサイズの変更と一部カラー化で発行、令和四年五月号からは全ページをカラーにすることが出来ました。また、編集についても一般質問の記事の作成はそれぞれの議員が行い、表紙の写真については私が担当するなど一新しました。今回のタブレット端末の導入についても、議長に就任した直後、議会にICTに関する検討委員会を設置しタブレット

末の導入を目指し検討を行い、令和四年十二月定例会から試行で導入することが出来ました。そして、令和五年三月定例会からは、本格導入によるペーパーレス議会の始まりです。タブレット端末の導入効果については、議会の効率化、ペーパーレス化による経費の削減など、多岐にわたります。これからも様々な有効活用を検討していきます。

行政視察報告

行政視察とは、本市の政策立案や意思決定に資するために、先進的な取組をしている自治体を訪問して学んでくるものです。

今年度は、議会運営、総務経済、都市民生の各委員会が視察を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和二年度、三年度は実施を見送っていたため、三年ぶりの実施となりました。

☆報告書は、左のQRコードからご覧ください。



議会運営委員会

十一月八日～九日に、福岡県那珂川市と佐賀県鳥栖市の視察を行いました。

一日目には那珂川市役所を、二日目には鳥栖市役所を訪問し、議会におけるタブレット端末の活用についての説明を受けました。

那珂川市議会では、タブレット端末へのサイド

ブックスやラインワークスといったアプリの導入をはじめ、Zoom会議に使用するなど、タブレット端末の積極的な活用に取り組んでいることを学びました。

鳥栖市議会では、タブレット端末へのアプリの追加を基本的に自由とし、より柔軟に活用できるように取り組んでいることを学びました。



持参し、より具体的な運用方法やこれからの課題について学ぶことができました。

総務経済常任委員会

十月二十六日～二十七日に、香川県三豊市と愛媛県四国中央市を委員と議長で訪問し視察を行いました。

一日目には、三豊市役所を訪問し、三豊市が取り組んでいる移住定住施策についての説明を受けました。移住者へ補助金を支給する取り組みから、暮らしやすさや幸福度を

数値化・可視化したウェルビーイング（心身の健康や幸福）の観点を魅力ある街づくりに取り入れることで、人口増加に取り組んでいることを学びました。

二日目は、四国中央市役所（下の写真）を訪問し、新庁舎建設について説明を受けました。新庁舎の基本理念を「①市民の安全・安心な暮らしを支える庁舎②市民に親しまれ、利用しやすい庁舎

③環境に配慮し、かつ効率的・機能性を重視した経済的な庁舎」と定めて取り組んだことを学びました。



都市民生常任委員会

十一月十七日～十八日に、新潟県南魚沼市と糸魚川市の視察を行いました。

一日目の南魚沼市では、子育て支援センター「子育ての駅ほのぼの」を視察した後、市役所で子育て支援センターの取組みについて説明を受けました。従前の施設の課題を踏まえ、市の若手職員で

踏まえ、市の若手職員で

組織するプロジェクトチームと関係部署の連携、さらには民間企業との協力により平成二十九年に民間商業施設内に開設されました。職員の方の開設までの熱意と市民からの要望に対する姿勢が特に印象的でした。

二日目は市の下水道担当職員二名も同行し、糸魚川市役所で公共浄化槽（市町村設置型浄化槽）について説明を受けました。事業開始までの経過

や使用料の考え方、浄化槽設置までの流れなどの説明を受けることができ、三浦市でも検討している公共浄化槽の手法について学ぶことができました。



現地視察を行いました

令和五年四月の開校に向けて二町谷地区埋立地に建設された「日本さかな専門学校」の校舎を十二月十五日に議員全員で視察しました。

この学校は日本初の「さかな」を総合的に学ぶ専門学校であり、実習中心のカリキュラムを行うための施設が整備されています。

建物は南海トラフ級の地震で予測される九メートルの津波にも耐えられるよう二階までの高さが十メートルに設定されており、開放感のある施設となっています。当日は天気も良く、風景は素晴らしいものでした。一階には個人用水槽のほか、巨大水槽や養殖機器があり、二階には教室・実習室が配置されていました。

今後、さかなのスペシャリスト達がこの学校から生まれてくることでしょう。



本市への行政視察(令和4年1月~12月)

令和4年に三浦市を行政視察で訪れた議会は、次のとおりです。

No.	月日	市町村	視察事項
1	7月12日	愛媛県八幡浜市	うらりマルシェの運営について
2	7月14日	岡山県倉敷市	海の駅を活用した観光振興への取組、漁協等各種団体との連携、運営状況について
3	10月18日	新潟県南魚沼市	三浦市立病院について

議会報告会を開催しました

令和四年十月二十九日に議会報告会を開催しました。

例年は市内三地区で開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、昨年度と同様、一地区に絞

り、今回は南下浦地区の皆さんと実施しました。議会から南下浦市民センターの建替えを兼ねた子育て世帯向けの賃貸住宅の新規整備を行う子育て賃貸等整備事業について報告を行いました。

報告後には、地域コミュニティの向上をテーマとして、二グループに分かれ、ディスカッションを行い、最後に結果を報告しました。

当日に報告された意見等は次のとおりです。
(一部抜粋)

- ・孤独死があり、洗濯物が干されているか、電気が点いているか近隣住民が確認し見守る必要がある。
- ・県宮上宮田団地では、食料の他、子供用品の備蓄や発電機もあるが、災害時、発電機一台では足りないと感じている。
- ・議会の中で、市民からの意見を集約し、市側へ意見し、市政に生かすべきである。

アンケートからの意見等は次のとおりです。
(一部抜粋)

- ・区にとつては、高齢化が最大のテーマです。市として、どのように進めるべきか、区は何から手

を付けるかについて考える必要があると思います。

- ・コミュニティセンター・出張所等の詳細な説明があり、具体的に理解できるものでした。
- ・とてもいい時間でした。

議員さんも各地区に歩いて地域の人間と交流して頂きたいです。地区がそれぞれ活動している状況を目で見ては？

報告会終了後は、報告書の作成やアンケートの集計を行い、十一月二十二日開催の議会運営委員会で、委員以外の議員も出席のもと、結果報告と意見交換を行いました。



当日の詳しい内容は、議会ウェブサイトからご覧いただけます。

3月定例会日程案

令和5年第1回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
2月 20日	月	招集告示
22日	水	議会運営委員会（日程・審議方法等決定）
28日	火	本会議（施政方針）
3月 1日	水	本会議（一般質問）
2日	木	本会議（一般質問）
3日	金	本会議（一般質問）
6日	月	総務経済常任委員会
7日	火	都市民生常任委員会
9日	木	予算審査特別委員会
10日	金	
13日	月	
14日	火	
15日	水	
20日	月	

※今定例会で審査する請願・陳情の提出期限は2月21日（火）です。



お家でも議会が 見学できます！

三浦市議会では、本会議のライブ映像や過去の映像をYouTubeで配信しています。スマートフォンでも視聴できますので、ぜひ、議会の様子をご覧ください。

議会インター
ネット中継は
こちらから➡



三浦市議会 議会中継 🔍 検索

※過去の映像は会議録が議会ウェブサイトに掲載されるまでご覧いただけません。

編集委員コラム

編集委員

溝川 幸一

ペーパーレス化は働き方改革の一つに含まれ、文書に関わる業務を効率的に行うため、三浦市議会でも、三年前より議会のペーパーレス化に向けた検討を重ね、昨年十二月の定例会よりタブレットを導入しました。タブレット内には膨大な量の議案や資料等があり、一つの資料を探すのに手間取る場面もありましたが、一日も早く操作に慣れ、議会での効率的な利用に努めたいと思います。

議会だより

編集委員会

委員長 草間 道治
副委員長 小林 直樹
委員 蓮本 一朗
溝川 幸一
石橋むつみ
出口 正雄

広告を掲載 しませんか？

みづら市議会だよりに掲載する広告を募集しています。

市内に事業所または住所を有する企業、そして個人の方も、ぜひ、ご検討ください。

広告掲載料など、詳しくは、議会ウェブサイトをご覧ください。

こちらは
縦4.2cm×
横6.3cmの例



寿司



新鮮なネタを
用意しております！

☎〇〇〇-〇〇〇〇

※広告イメージです